

特別講演

『中国・インド工場時代における我が国の中核的ものづくり人材の育成』

■ 日 時：2009年10月2日（金） 16：00～17：00

■ 会 場：職業能力開発総合大学校 7号館 大教室



講 師

ふるかわ ゆうじ

古川 勇二

職業能力開発総合大学校 校長

日本学術会議会員、同機械工学委員会副委員長、生産科学分科会委員長、経済産省産業構造審議委員、内閣府総合科学技術会議評価専門委員ほかを兼職

略歴

1943年生まれ、満66歳

1968年 東京都立大学工学研究科修士課程修了

1983年 東京都立大学工学部教授

2003年 東京農工大学工学部機械システム工学科教授

2008年 職業能力開発総合大学校 校長、現在に至る

講演概要

サブプライムローンショックで疲弊した世界経済はようやく復活しつつあるが、矢張り元気があるのは世界の工場となった中国とインドである。我が国のものづくり方針も米欧依存型から、内需振興と中国・インドを初めとするアジア域との競合と協調を除いては他に生き残る道はない。

コモディティ化した製品の高度化と、新EV時代におけるクルマ産業の技術動向と市場を予測し、かつ先進諸国に課せられた環境対応を配慮し、我が国のものづくり産業の知識化ロードマップを議論する。

このロードマップを可能とするためのオープンイノベーション（インベンション、プロダクション、デフュージョン）政策としての地域クラスタープラットフォームの形成と実施、およびロードマップを実現する技能技術者（テクノロジスト）の育成と重層化が必要不可欠である。次世代のテクノロジストに求められる資質とは何か、その養成方法についてEUとの比較において我が国のあり方、優位性について議論する。